

## 令和5年度 第1回 富塚小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年4月20日（木） 13時30分～15時15分
- 2 開催場所 富塚小学校 会議室
- 3 出席委員 吉原 忍、萩原 孝英、小宮山 文博、久保田 智彦、鈴木 佐知、  
笠原 大輔、平出 裕美子、水野 敦子
- 4 欠席委員 鈴木 秀俊
- 5 オブザーバー 小楠 佳子（地域代表）
- 6 学 校 村松 一彦（校長）、鈴木 彰一（教頭）、江間 慎一郎（教務主任）、  
新田 久美子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 新田 久美子
- 9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、水野委員から吉原委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された吉原委員から、鈴木秀俊委員を副会長に指名する旨の報告があった。

### 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、吉原会長が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

### 11 協議事項

- (1) 今年度の学校運営基本方針について
- (2) いじめ防止等のための基本的な方針について
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- (4) 学校運営協議会の自己評価について

### 12 会議記録

司会から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 今年度の学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、資料に基づき今年度の学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・タブレット学習を行っているという話があったが、ローマ字を習っていない学年の子供たちはどのように入力しているのですか？（萩原委員）

- (校長より) 手書きなどで行っています。
- ・ピア・サポートとは何ですか？ (萩原委員)  
→ (校長より) ピア・サポートとは「仲間と支えあう」という意味です。
  - ・パソコンの授業は学年によってやるかが決まっているのですか？  
→ (校長より) パソコンの授業というのはありません。タブレットを道具として授業の中で使っています。ただし、プログラミングの授業はあります。
  - ・チャットGPTというものが話題になっているが、今後学校の中ではどのように使っていくことになりますか？ (萩原委員)  
→ (校長より) チャットGPTはこれから世の中の主流になっていくのかもしれないが、文科省がどのように判断するかはまだ分からない。個人的に使い方には注意が必要だと考えています。
  - ・子供が富塚小学校に入学する時、事前情報があまりなく不安であった。また学校の先生にどのような方がいるのかなど、学校の中の情報が少なく分かりにくいと感じる。パソコンの授業についてもどのような授業を行っていてどのような効果があるのかが今のところ分かりにくい。(鈴木佐知委員)  
→ (校長より) ①入学前の情報が少ないことへの不安については、今後改善していく必要があると考えています。  
②パソコンの授業については、SNSの使い方など学校だけでなく家庭でも教育していくことが必要だと考えている。学校でやっていることをできるだけ保護者に伝えるようにしていきたいと思います。  
③先生や学校の情報提示については、個人情報保護の観点から難しいところもある。できる範囲で明瞭になるような努力はしていきます。
  - ・コミュニティ・スクールを使って学校の情報を得ることもできるのではないか。学校からもらう情報を待つだけでなく、授業支援のボランティアなどに参加をすることによって子供たちや先生方の様子を知ることできると思う。(小楠さん)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

## (2) いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づきいじめ防止等のための基本的な方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・いじめは自分の子供が関わっていなければ身近に感じにくい。以前PTAがいじめに関する講演会を開いていたことがある。話を聞いて考える機会があるとよいかもしれない。(水野委員)
- ・いじめにあっても誰にも話さない子もいるので親としてはとても不安である。先生方がどのような対策をされているかや、いじめ防止の基本方針がホームページに掲載していることなどを保護者にも知らせて欲しい。(吉原会長)

→（校長より）ホームページへの掲載については、次回の学校だよりでお知らせする予定にしています。

- ・いじめにあっても誰にも言えず、一人で抱えている子もいるのかもしれない。（笠原委員）
- ・言葉の教室や講演会など、子供と保護者が一緒に話を聞く機会があるとよいのではないか。（鈴木佐知委員）
- ・いじめ防止等のための基本的な方針は、小学校ごとに違うのですか？学校によって対応が全く違うのであれば心配。（萩原委員）

→（校長より）学校によって大きく違うことはありません。資料7ページの年間指導計画は学校ごとに設定しています。

- ・子供がいじめられていると、お母さんが過敏になっているケースがある。親子で話を聞く機会があるとよいと思う。（平出委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

### （3） 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

### （4） 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、教頭から、資料に基づき学校運営協議会の自己評価について説明があった。今年度の学校運営協議会取組目標の設定について、委員からは以下の発言があった。

- ・令和4年度自己評価の項目3の2番目「学校運営協議会では子供たちや学校の問題点を明確に示してもらい、保護者や学校や地域がどんな協力をして解決していくか協議していきたい。そのために、教育活動の様子を自分の目で見て、来年度（今年度）の協議会で具体的な意見を出せるようにしたい」という辺りが今年度の目標になるのではないか。（萩原委員）

### その他の報告事項等

司会から、次回会議は、令和5年7月7日（金）14時00分から富塚小学校会議室で開催する旨の報があった。